

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学救急医療学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2025 年 10 月

福島県立医科大学医学部救急医療学講座 鈴木剛

■ 研究課題名

溶血性連鎖球菌血流感染症における膿瘍形成の実態：後方視的記述研究

■ 研究期間

2025 年 10 月 ～ 2026 年 4 月

■ 研究の目的・意義

溶血性連鎖球菌はいくつかの種類がありますが、A 群溶血性連鎖球菌と呼ばれる種類は時に壊死性軟部組織感染症を引き起こします。また B 群溶血性連鎖球菌と呼ばれる種類は子供や高齢者に重篤な感染症を引き起こします。これらは劇症型連鎖球菌感染症と呼ばれ致死率の高い病態となる場合があります。これらは髄膜炎などに関連することは知られていますが、膿瘍（膿汁が溜まった部位）を形成するという病態との関連性はあまり知られていません。本研究では溶血性連鎖球菌が膿瘍形成と関連があるか調べる研究になります。これらを明らかにすることで診療現場において感染している部位を探すための一助となり、治療方針を立てやすくなると考えられます。

■ 研究対象となる方

2020 年 1 月～2025 年 7 月までに、救命救急センターに入院し以下の項目を満たした患者さんが対象となります。

- ① 情報取得時の年齢が 18 歳以上
- ② 血液培養結果に基づいて A 群溶血性連鎖球菌、または B 群溶血性連鎖球菌が陽性と診断されている患者

■ 研究の方法

対象となる方の電子カルテ上の診療情報から年齢や性別、生活習慣、入院時の血液検査の結果、治療内容、治療後どのような転帰をたどられたか、などの項目についてデータを収集します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2025 年 11 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学救急医療学講座であり、研究責任者は救急医療学講座鈴木剛です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学救急医療学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

収集された情報は、他の機関などへ提供することはありません

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部救急医療学講座 担当：鈴木剛

電話：024-547-1581 FAX：024-547-3399

e-mail：josh518@fmu.ac.jp